

修身の実践が家庭和合そして世界平和に 善循環の秩序を回復しよう！



今の世界は急速な多極化の流れの中で新たな段階へと移行してきました。AIをはじめとする超デジタル技術の飛躍的な発展が加わり、

人類の生活と社会制度全般がこれまでにない速度で再編されつつあります。

しかし、このような激動の時代だからこそ、人類が長く守り継いできた根本的価値が揺らぐ傾向が顕著に現れています。とりわけ、父母を敬い、家庭の秩序を正しく保つ「孝」の文化は、急速な環境変化の中で徐々に弱まり、それとともに家庭の平和や共同体の調和も揺らぎ始めています。

いまこそ私たちは、「修身齐家平天下」"self-cultivation, family harmony, and governing the world in peace" の精神を

あらためて甦らせる必要があります。個人の心を正し、その修身の実践が家庭の和合へとつながり、さらに社会と世界の平和へと広がっていく善循環の秩序を回復しなければなりません。

孝道運動は、いずれか一国や特定の文化圏に限定されるものではなく、人類が共に追求すべき普遍的価値であり、国際的な実践課題となるべきものです。

過去 5 年間、困難な状況の中にあっても変わらぬ真心と献身で孝（孝道）運動に尽力してこられた若き覚醒者・李貴史（りたかふみ）を始めそのチーム全員に、深い讃辞と敬意を表します。使命感に満ちた実践が、個人の努力を越えて、より大きな社会的響きとなって広がっていくことを期待いたします。

株式会社altong顧問 安奉洙



2025年の講師の先生紹介～ありがとうございました！

孝道オンライン交流会は、「親孝行作文コンクーの入賞者、および家族を対象に、毎月定期的で開催しています。2025年は、ブラウン大学上席研究員の先生、現役の教師、経営者、アメリカ留学中の孝道奨学生の先輩など、様々な立場でご活躍の皆様が講師を務めてくださいました。

今年は、参加者が主体的に関われる楽しい企画を準備していますのでご期待ください。

Feb 藤田先生
(小学校教諭)

0～3歳の頃に好き
だったものは？

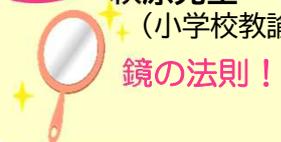
Mar 廣井先生
(ブラウン大学上席研究員)

惑星科学における
ID理論と霊界！！

Apr 前崎先生
(中学校教諭)

こうていペンギンは
なぜ生き残れたか？

May 萩原先生
(小学校教諭)



Jun 林社長
(飲食チェーン経営)



Jul 田代先生
(学習塾主宰)

親孝行に
必要なこと 

Aug 雨宮先生
(東大名誉教授)

光ってなんだろ
う？量子の不思議

Sep 牧瀬奨学生
(東大学生/留学中)



2025孝道文化国際大会 IN JAPAN 2025年11月1日 アクロス福岡



孝道文化国際フォーラム



孝道と医学
第一薬科大学
副学長 吉武毅人

孝道と家庭
韓国郷校典校協議
会会長 秦認秀

「孝道」の輪を広げて地域のつながり創りへ。家族は最後のセーフティネット

孝は単なる個人の徳目を越え、社会全体の道徳的基盤であり、健康な精神文化を支える根幹である

子どもが幸せな孝行文化教育が経済発展の道

孝道と宗教
日本ミャンマー
未来会議代表理事
井本勝幸

孝道と教育
横濱中華學院
校長 杜文劬

孝道も宗教も、神仏や年長者が一方向的に施すものではなく、自身自身の努力があってこそ報われるもの

礼節・志・仁愛を基礎とした教育のかたち~本校における道徳と文化の融合

「孝」を失えば、人としての最低限の徳性を失うことになる

香港制仁大学孝道教研センター
兼任研究員 劉佩

孝道文化国際大会

孝道文化国際大会 IN JAPANは、これまで横浜、東京と続き、2025年で5回目となり、11月1日に福岡で開催されました。

今回も国際色豊かに、韓国、マレーシア、ミャンマー、台湾、香港から参加。有識者たちによる国際フォーラムや、子供から大人まで喜びと感動の孝道文化の祭典が盛大に行われました。

基調講演



久保田史郎先生（産婦人科・麻酔科医院 院長、医学博士）

作文コンクール表彰式



作文コンクール受賞者：2025年は全国から約700通の応募がありました。司会は、孝道大使の大学生 牧瀬嵩文さんが務めました

朗読



小学生、中高校生、大学・一般各部門の受賞者たち自らの朗読は、心に響き圧巻でした

総合司会



四世代表彰



フィナーレ



会場も一緒！「しあわせなら手をたたこう♪」

祝辞



韓国、マレーシアからの来賓

エンタメ

毎年大人気の「変面」や本大会のために書き下ろされた曲「親心」、当財団のハートフルコーラス初挑戦「千手観音」等々大会に華を添えました



「千手観音」ハートフルコーラス



祝歌 中尾友香理



揚琴（中国の伝統的な打弦楽器）趙勇



歌「親心」 YAMATO



「変面」 双劉舎

各支部の親孝行作文コンクール表彰式

関西支部・大阪支部合同で！

関西

10月5日(日)、大阪市内の会場にて関西親孝行作文コンクール表彰式を開催しました。今年に関西支部と大阪支部合同での開催です。

心がじ〜んと温まる歌「ありがとうの輪」の披露から始まり、表彰式後7人兄弟受賞者の朗読、作文審査員であり現高校教員の青井先生から「孝は百行

の本」の講話、最後は負けるが勝ちの大阪じゃんけんで楽しく幕を閉じました。参加者からは、「作文を通して感動や気づきがとても多かった」などの感想が届きました。

ありがとう♪
いつも照れくさくて言えない気持ち♡この歌にのせて♪~



東北・北海道 フотスポットで笑顔に♡

10月11日(土)仙台市のエレクトロホールで大会を開催。家族写真を撮れるように会場に撮影ブースを作りました。おかげで受賞者はほぼ家族で、講師や来賓も夫婦で来てくれました。司会は中学生と米国から来た家庭青年の2人。受賞者の家族の感想も聞き親子愛に感涙しました。田代講師の親孝行の話や、4世代賞の韓国婦人の義母への手紙、韓国舞踊団の美しい踊りも感動でした。皆が笑顔で写真を撮る姿に、孝道活動の素晴らしさを実感する大会でした。



2025孝道文化国際大会 IN JAPAN

参加しました！

アジア圏の方々の参加に驚きました。エンタメも楽しかったです。

★娘と2人で参加。貴重な時間でした。

「孤独・孤立」の公衆衛生学的課題について考える機会ができて、感謝でした。

★義母も実母も喜んでました♡

濟州島の金仁順さん(84歳!?)の力強い祝辞と、医師・久保田史郎先生の話から力をもらいました。

作文を通して親孝行に向き合う時間ができました。親孝行が家族の思いにもつながり、それが学校や地域に対する思いやりにつながると思います。

小学生～社会人までの作文を聞いて、母へ思いというのは、一生残るものであり、父母に感謝できる人が幸せだと感じました。

子供の親孝行を強調するだけでなく、大人としてチャント教える責任があること。家族の愛、繋がりのある人間関係がやはり人を元気に健康にすることが印象に残りました。

★フォーラムの講座が多彩で、大変面白く、刺激を受けました！

代表者朗読に感動。孝行の情を作文として表現する取り組みは素晴らしいことだと思いました。

フィナーレの「しあわせなら手をたたこう」を会場の全員がひとつになって歌う姿に感動しました。

千手観音を福岡大会で披露するという夢が現実になりました。ずっと一緒にやってきた子供達が特別実践賞を受賞、本当に感激です。

中国孝子伝

第八回 黄庭堅 (こうていけん)

宋代を代表する書家、詩人の黄庭堅(十一世紀の人、

号は山谷)は、母への孝行でも知られ『二十四孝』にその名を残しています。

士大夫(官僚・地主・文人

を兼ねる中国の支配層)である黄庭堅の家には、妻や多くの使用人がいましたが、

母想いの山谷は、「母に仕えて

て真心を尽くし、夕方ごとに

自ら母のために、小水に使う器を洗って、一時も子

供としての務めを怠ることは

無かった」と伝えられます。

母や家族への想いを謳った

次の句で始まる詩が、よく

知られています。

蓮実大如指

分甘念母慈

……

実中有公荷

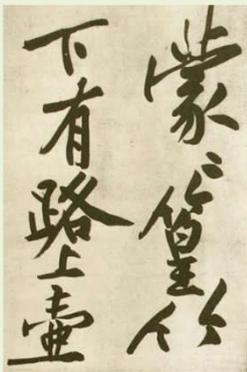
拳如小児手

……

〈蓮の実、大きさは指先ばかりだが、割って甘いのを口にすると、母の慈愛を思い起こす。……

実の中には小さな葉があり、その拳に似た形は幼子の手のように〉

勇壮で自由奔放な書風からは想像できない、暖かく細やかな家族愛を内に秘めた、孝子・黄庭堅のすがすがげな作品です。(仁龍)



(黄庭堅の書『伏波神祠詩卷』)

発行元：



発行日：2026年2月1日

〒150-0043

渋谷区道玄坂2-15-1ノア道玄坂215

TEL: 03-6433-7416

<https://fpcfoundation.org/>

